

(様式3)

事業所名 グループホーム切石

目標達成計画

作成日： 令和 6 年 12 月 20 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成 に要する期 間
1	35	実際に災害が起きた時、現場の職員はどう動くべきか、十分なシミュレーションができていない。	職員みんなが、あらゆる災害・様々な場面を想定し、職員も利用者様も不安のない避難計画がイメージできるよう防災意識を高める。	BCP計画(事業継続計画)がより身近なものになるよう読み合わせをする。様々な場面を想定したワークなどの研修を行い、具体的なシミュレーションをする。さらに消防署立ち合いのもと、夜間帯や一人体制を想定した避難訓練を行い、問題点や改善点を見つける。	12ヶ月
2	43	一人ひとりの希望や馴染みの場所への外出に対応できていない。	個別の外出や買い物に対応できる体制を整え、外出支援をする。	利用者様の希望に耳を傾け、日勤が動きやすい職員体制の工夫をする。無理のない範囲でご家族にも協力を依頼するなど、選択肢を増やして個別の外出支援につなげる。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。
複数のユニットを有する事業所において、事業所全体でユニットごとの目標の総括を行う場合は、本様式を1つ作成してください。